

令和三年宮城県支部 通信互選俳句会成績

令和三年五月

守屋明俊選（本部派遣選者）

○特選

一服に畦焼く端の火をもらふ

かげろふは海の碑三月来

塩竈の夏や藻塩をかうてこそ

柏木ともみ

諸岡 孝子

坂内 佳禰

○秀逸

魯迅碑の不戦の太字桃の花

夜空にも沖のあるはずちやんちゃんこ

蜜蜂を喜ばせたる献花かな

黙禱の沖へ一羽の青鷹

道産子の馬柵の続き耕せり

岡本 幸治

渡辺 通子

高宮 義治

佐野 久乃

木村螢雪子

○入選

草萌や立てば歩めのフェルト靴

雛飾る老の館の賑はしく

牛の顔のけつつ解く雪囲

十年てふ祈りの嵩や春田打

御持たせの菓子のもも色あたたかし

老猫の寝息たしかむ春の闇

慰霊碑に跳ねて風船青空へ

遅刻児の背を押してゐる揚雲雀

飛ぶちから秘めたんぽぽの丸き絮

お地藏に汲み立ての水土の春

高木 秀子

土井 澄二

木村螢雪子

佐藤 綾泉

藤 ユウ

柴田 和枝

佐々木潤子

伊藤 一男

山田 史子

篠沢 亜月

○互選高得点句

13点 白魚のひしめく目玉うられけり

10点 魯迅碑の不戦の太字桃の花

高宮 義二

岡本 幸治

式場を四角に歩き卒業す

澁谷としの

9点

一服に畦焼く端の火をもらふ
柔らかき馬のたてがみ風光る

柏木ともみ

7点

草萌や立てば歩めのフェルト靴
黙禱の沖へ一羽の青鷹

田村 恵子

高木 秀子

佐野 久乃

5点句

自転する大地よ海よ鳥帰る
射て解くる畝の配置を図におこし
十年てふ祈りの嵩や春田打

石川喜美子

大沼せつ子

佐藤 綾泉

蒼天の深みに浮かぶ花辛夷

木村 裕一

海へ打つ慰霊の太鼓春寒し

相内をさむ

春霞見知らぬ街へ来たやうな

針金 聖子